

口腔外科はじめます

大阪みなと中央病院では9月の新病院移転より、
口腔外科診察を開始いたします。

口腔外科とは

口は咬むこと・飲むこと・しゃべることといった人が生きていくために必要な機能をつかさどる非常に大切な器官です。では、口腔外科？と多くの方々には聞きなれない診療科かもしれません。口腔外科では、口の中で歯はもちろんのこと、上あご、下あご、舌等に発症した疾患に対して治療を行う診療科です。ただ街の歯医者さんで行うような虫歯、入れ歯の治療等はいりません。具体的には、親知らずの抜歯、顔面の骨折、舌がんをはじめその他の口腔がんの治療等を行います。それ以外にも、近年がんの治療前後の感染制御および早期離床目的、高齢化にともなう誤嚥性肺炎予防に口腔ケアという形で大きな役割を担っています。

担当医師



松岡 裕大医師



和田 剛信医師

口腔外科疾患とその治療

一概に口腔外科領域の疾患といっても意外と多く、治療もそれぞれ異なります。当科では以下のような疾患に対して口腔外科学会認定の専門医・指導医が治療を行います。

埋伏歯

基本は抜歯で親知らずの抜歯が代表的です。

顔面骨折

骨折により咬み合わせのずれ、顔面の変形が生じます。それらの回復目的で手術をします。

炎症や袋状の病気

口の中には非常に多くの雑菌が存在します。そのため咬み傷や歯が原因ですぐに腫れたり膿袋を形成するので、抗生剤の点滴をしたり摘出の手術をします。

顎変形症

受け口などで咬み合わせや顔面のゆがみが起こります。それらに対して外科的矯正手術をします。

口腔がん

口の中いたるところにがんはできます。それらのがんの進行度によって治療法（本院形成外科と連携し再建手術も考慮します）を決め、可能なかぎり患者さんの要望にそって治療をします。

その他、口内炎、あごの関節等の治療も行います。疾患によっては入院、全身麻酔での手術を行います。

口腔ケアについて

近年、がん治療のみならず高齢化にともなう口の中の合併症、例えば難治性の口内炎、誤嚥性肺炎等により患者さんのQOLを低下させています。またそれらの合併症により重篤な感染症を引き起こし治療の延期や中断を余儀なくされることも多々あります。ところが最近の研究結果により、積極的に口腔ケアに介入することで合併症の発症率が低下するといわれています。当科ではがんの手術、放射線、抗癌剤治療前後の患者さん、その他の疾患で手術を受けられる患者さん、内科的疾患をお持ちの患者さんに対して、医師の診察後専門の衛生士による口腔ケアを行います。

スタッフ

松岡 裕大 歯科医師

(令和元年7月末日まで大阪大学歯学部第一口腔外科 准教授)
専門分野：口腔がん・その他口腔外科一般
歯学博士
日本口腔外科学会専門医・指導医
日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医
日本がん治療認定医機構がん認定医
歯科医師臨床研修指導歯科医
緩和ケア研修修了

最後に

はじめまして、松岡裕大と申します。この度大阪みなと中央病院に口腔外科を開設するにあたり大阪大学歯学部より赴任しました。大阪みなと中央病院に来るまでにNTT西日本大阪病院（現第二警察病院）、八尾市立病院、関西労災病院、済生会吹田病院、大阪大学歯学部にて口腔外科疾患および口腔ケアに携わってきました。その経験を活かし、これからも地域の方々と密接に関わりながら少しでも地域医療に貢献できればと思っています。口腔外科領域でお困りの際にはご気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

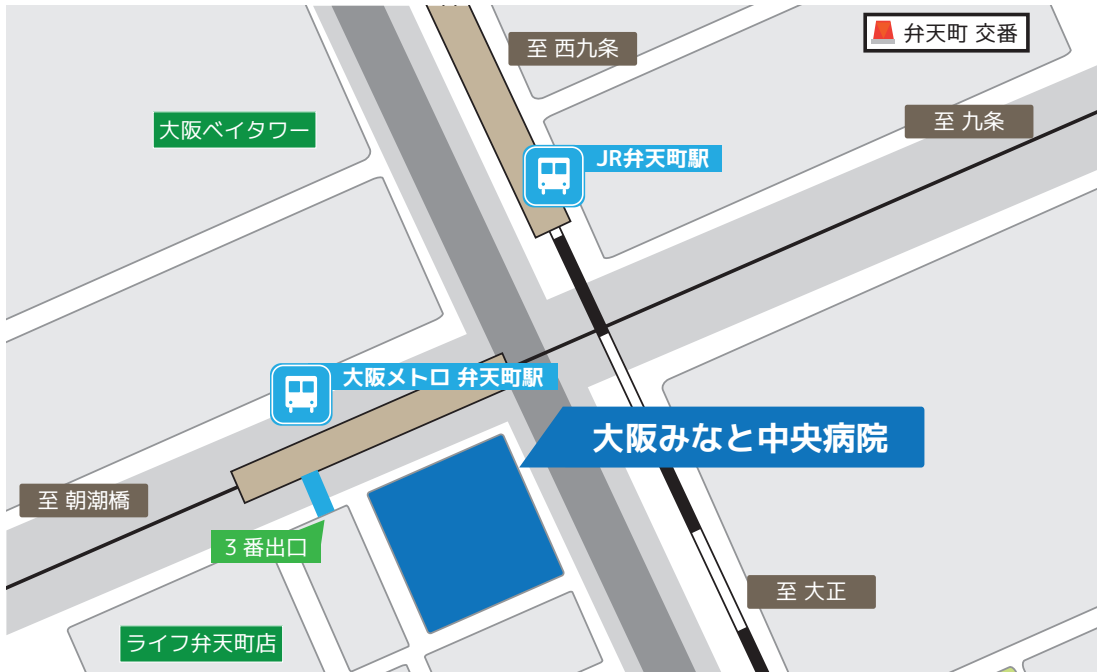
和田 剛信 歯科医師

専門分野：口腔がん・その他口腔外科一般
歯学博士
日本口腔外科学会専門医
歯科医師臨床研修指導歯科医
緩和ケア研修修了

歯科衛生士

引田 美加
岩崎 美沙

アクセス



大阪みなと中央病院

〒552-0003 港区磯路 1-7-1 TEL 06-6572-5721

大阪メトロ弁天町駅 3番出口すぐ